

2020年度10月15日理事会議事録

1日時：2020年10月15日（木）19：00～21：15

2場所：ウェブ開催のため各自宅・職場

3参加理事：錠内・野々垣・木村・金山・吉本・佐々木・奥原・神保・玖島・遠藤・
野本・神田・佐藤範・戸塚・澤口・佐藤良・西川・大郷（18名）

参加監事：田中（1名）

欠席監事：鶴見（1名）

4議事録署名人：錠内会長、戸塚理事、田中監事

5議決事項（議事の経過概要及び議決結果）

（1）三役

1）審議事項

1－1）神奈川県医療専門職連合会（以下、6団体）との今後の関わりについて

会長より、もともと県立大学設立のために集まり始めたと聞いている6団体であるが、徐々に活動は縮小傾向である。その一方で、毎年拠出する金額は当会の財政を圧迫している。拠出金を支払わないことになれば、必然的に脱会となるため意見交換を行いたいと経緯の説明がされる。

1－1－1）意見交換

澤口：事務局は持ち回り制であり、慣例的なことしか行えていないのでは。会長の説明の通り、県立大学設立のためであれば目的を達成しているので解散という考え方もあると思う。

野本：他団体では医師と看護師の存在感が強い。それに対抗する政治的な関わりを行っているのか。目的は何なのか。

錠内：年に1度12団体が集まって県知事と会ったり、情報交換を行っており、6団体もその中に含まれている。情報交換や政治的な関わりは12団体でカバーできると考えている。

神保：他の団体は活動が縮小していることをどう思っているのか。

錠内：事務局を担当する団体により差があるのは事実。

佐藤良：存続していくためには目的が大事。当会の会員にメリットがあるのか。

錠内：6団体を改革していく時間と予算、熱量を考えると当会の活動にその予算を有効に使っていききたい。

（2）事務局

1）重点課題 なし

2）審議事項

2－1）後援依頼 日本医療マネジメント学会

2021年3月13日（土）オンライン開催⇒承認

- 2-2) 厚木市障害者介護給付費等の支給に関する審査会次期委員推薦について
玉垣幹子氏（神奈川リハビリテーション病院）継続 ⇒承認
- 3) 報告事項
 - 3-1) OT 協会
 - 3-1-1) 研修会受講歴についての依頼
生涯教育システム変更に伴い、各士会で開催された研修会の受講履歴登録がストップしている。稼働までの間の対応について依頼があり、学部へ依頼。
 - 3-1-2) 第5回 MTDLP 拡大連携会議（web）
2020年10月07日（水）19時～20時 テーマ「養成教育と MTDLP」で開催予定。木村副会長連絡済。
 - 3-1-3) アルツハイマー月間のホームページ掲載について
神奈川県士会認知症対策委員会の取り組みが OT 協会 HP にアップされた。
 - 3-1-4) 47 委員会について
9月12日にオンラインにて開催。午前金山、午後澤口理事が参加。
 - 3-1-5) チーム医療推進協議会令和2年度研修会のお知らせ
10月31日（土）13時～17時 YouTube 配信
 - 3-1-6) 第13回 障害保健福祉領域における作業療法（士）の役割に関する意見交換会
11月21日（土）15時～17時20分 オンライン開催
 - 3-2) 行政
 - 3-2-1) 神奈川県「11月までのイベント開催について」
上限人数（5000人）及び収容率（大声を出さないことで100%の利用可）のいずれか小さい方で開催可能との連絡あり。
 - 3-2-2) 厚労省 周知依頼
 - 3-2-2-1) 医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取扱いのためのガイダンス及び Q&A の改正について
 - 3-2-2-2) 介護サービス事業所・施設等に勤務する職員に対する慰労金支給に係る協力の依頼について
 - 3-2-2-3) 成果連動型民間委託契約方式（PFS）に関する事例集について
 - 3-2-2-4) 新型コロナウイルス感染症に関する母性健康管理措置による休暇取得支援助成金の支給要件の見直し及び「母性健康管理措置等に係る特別相談窓口」の開設に関する周知について
 - 3-2-2-5) 年金生活者支援給付金の支給に関する法律の改正に伴う対応について
 - 3-2-2-6) 「介護サービスにおける感染対策相談窓口の設置について」の周知について
 - 3-2-3) 生涯教育推進事業について
発注書が届いた。担当の遠藤理事と連絡をとりながら実施中。
 - 3-3) 関係団体
 - 3-3-1) 医療専門職連合会の2020年度の負担金について

270,000 円を振り込み済み。今後の会の参加については脱退も含め検討中。

3-3-2) 日本障害者協議会

40 周年オンライン集会「国際障害者年前夜からの 40 年をたどり未来を展望する集い」のご案内

12 月 12 日 (土) 13 時~16 時 オンライン開催

3-3-3) 訪問リハビリテーション振興財団

2020 年度在宅リハビリテーション従事者研修会《通所リハ編》《通所介護編》開催のお知らせ

12 月 12 日 (土) ~12 月 13 日 (日) オンライン開催

3-3-4) 杉浦記念財団助成募集案内

澤口理事に周知済み。

3-4) 士会内

3-4-1) 学会長印発送済

3-4-2) 第 18 回神奈川県作業療法学会の委嘱状

学会評議委員会と学会長からの依頼があり、中心的な役割を担う実行委員 3 名分の委嘱状を発行。大会長、事務局長など県士会として委嘱した方がいい部門長について学会評議委員会に検討依頼済。

3-4-3) Zoom 使用の予約先について

スケジュールで確認後、理事 ML で周知。予約は理事が担当する。

3-4-4) ネットバンキング使用について

大幅に業務がスムーズになり手数料の削減を図る事ができるため、手数料はかかるが『業務の効率化 (ATM でなく事務局の PC で振込ができるため振込事務の時間と手間が省ける)』『事業費の削減 (振込の件数が極端に増加しているため、振込手数料の大幅な削減になる)』が実現できる。セキュリティも適正に管理されている。「照会・振込サービス 2,200 円/月額」を想定していると財務と経理の松村氏より提案があり、三役で検討の結果、2020 年 9 月 30 日~2021 年 3 月 31 日まで半年間が無料ということもあり、導入を試みる。

3-4-5) 第一国際ビル 302 号室について

9 月 21 日 (月) に企業の引っ越しが決定。米や麦の検査を行う会社で勤務人数は数人とのこと。見学のため開けていた共有扉は従来通り閉める。

3-4-6) 予備 PC の修理について

予備の DELL ノート PC が修理後返送された。修理代 10,780 円。

3-4-7) 火災保険の満期について

2020 年 10 月 7 日で満期となる。2 年間の同条件で更新すると保険料は 18,850 円となり、今までの 21,250 円より安くなった。

3-4-8) 事務局鍵について

10 月 5 日警察よりセコムを通じて鍵の落とし物について連絡あり。金山事務局長が保管している鍵であり、当日受け取りに行く。他の鍵を出した際に道路に落としてしまっていた。鍵がないことに 10 月 4 日の晩に気が付き、探している途中だった。会議がウェブになり、鍵を使用する頻度が減っているので取り扱いと

所在にはより一層気を付けていく。

(2) 財務部

1) 重点課題 なし

2) 審議事項 なし

3) 報告事項

3-1) 2020 年度中間監査

10月11日(日) 10時から県士会事務局にて実施済。以下の三点について報告がある。

①監査は事業監査も行っているのので、予算執行がなくても活動があれば報告する。

②講師などに謝金を振り込む際、謝金と交通費などまとめて振り込んだとしてもその内訳がわかるような記載をお願いしたい。

③10月の領収書が9月30日に計上されていることがあった。あくまでもお金が動いたときに計上するので下半期に回してほしい。

3-2) 電子印鑑の運用について メールでの案内を参照。

3-3) 福利厚生費領収書の運用について メールでの案内を参照。

3-4) 口座振替確認書

下半期にも関わるので確認する。以前に配布した資料を参照。

1-5) COVID-19 の影響による財務処理の対策について

下半期にも関わるので確認する。以前に配布した資料を参照。

(3) 学術部

1) 重点課題 なし

2) 審議事項 なし

3) 報告事項

3-1) 今年度のスキルアップ研修会 オンラインでのオンライン研修会予定

3-1-1) 新人でもわかる画像所見から読み解く高次脳機能と作業療法

10月25日(日) 時間: 10:00~11:30 (90分)

講師: 渡部喬之氏 (作業療法士) 昭和大学横浜市北部病院

3-1-2) メリデン版訪問家族支援について知ろう。～家族を丸ごと支援する～

11月8日(日) 時間: 13:30~15:30 (120分)

講師: 篠崎安志氏 (社会福祉士) 横浜市青葉区社会保健センター

松井洋子氏 (看護師) 訪問看護ステーションみのり

3-1-3) 研究のはじめの一步～クリニカルクエストから研究につなげる～(仮)

12月6日(日) 時間: 10:00~11:30 (90分)

講師: 南里佑太氏 (作業療法士) 北里大学病院

3-1-4) 今後について

2021年1~3月で2本の研修会を企画中 (すべてオンライン)

3-2) 2020年研究助成事業募集 (承認)

3-2-1) 嘉部匡郎氏 (昭和大学横浜市北部病院)

課題名：作業療法教育における診療参加型実習の利点・問題点の抽出

3-2-2) 牛腸昌利氏 (国際医療福祉大学小田原保健医療学部)

課題名：運筆に影響する座位姿勢の条件と頭部運動制御，体幹筋活動の関連

3-3) 学術誌刊行班

今年度の論文投稿数が大幅に増加している状態。刊行の際に大幅なページ数の増加が予想される。

(4) 教育部

1) 重点課題 なし

2) 審議事項 なし

3) 報告事項

3-1) 第2回臨床実習指導者講習会

10月3~4日 (オンライン開催) 終了 参加者：45名 (内PT2名)

講習会事務局：国際医療福祉大学 (小田原キャンパス)

3-2) OT協会教育部生涯教育委員会生涯教育推進担当より

3-2-1) 協会会員システムの受講履歴登録について

稼働できないため、士会にて参加者名簿と講師名を保管しておくことの依頼。参加者名簿 (会員番号、参加者名<漢字とカタカナ>) と講師名の記録が必要となるため、教育部 (奥原) へのご提出をお願いします。

3-2-2) OT協会教育部生涯教育委員会生涯教育推進担当者会議

11月14日 (土) 13時~オンライン開催予定。奥原理事出席予定。

(5) 広報部

1) 重点課題 なし

2) 審議事項 なし

3) 報告事項

3-1) ニュース班

3-1-1) 10月号公開される。

3-1-2) 12月号準備中。原稿依頼中。

3-1-3) 会員向けの内容の希望に関するアンケートについて

12月17日までHPからオンラインで実施予定。

3-2) 対外広報班 活動予定

3-2-1) 活動中止報告

8月ビッグレスキューかながわ 中止

8月リハビリテーションケアフォーラム (2019年度の延期分) 中止

3-2-2) 活動中止予定 (COVID-19により主宰判断、対外広報班からの確認にて)

10月介護フェア 中止報告の連絡あり

10月ハローよこはま (11日開催予定だった) 中止報告あり

3-2-3) 活動予定 (開催可否に関して未確定のため、随時確認していく)

11月かわさき介護いきいきフェア

1月～2月神奈川県介護支援専門員研究大会

2月～3月リハビリテーションケアフォーラム（2020年度分）

3-2-4) まとめ

今年度のすべての活動が非実施の状況。対外的な活動の継続方法について情報収集。現状でも活動できる方法として、ブース出展（体験・相談）よりも、SNS/メディア媒体での情報発信が可能と考えている。

案（2020年度当初の活動計画にはない）として以下のものを検討中。

①Instagramでの作業療法情報発信

他県士会（埼玉・長崎・広島・京都・三重・徳島など）なども実施中

②youtubeでの作業療法情報発信

協会・茨城県・奈良県で作成している内容は、レビー小体型認知症VR/絵本で伝える作業療法、お箸でらーめんが食べたい等

③神奈川県内のローカルラジオ番組でコーナーを持つ

FMさがみ（相模原）/FMかおん（海老名・県央）/FMブルー湘南（湘南）等
上記ラジオ局で5分～10分コーナーを持つと、約5万～10万/月

契約は1か月～3か月更新などさまざま 交渉の余地もありそう。

①②は自作のため、費用はカメラ等（備品費）、会議費が主。対象は県民のみならず幅広いが、相手がアクセスしないとみれない。③はラジオ放送圏内のみの発信となるが、まだ作業療法を知らないリスナーにも情報が届く。

他、様々な方法を継続吟味していく。

(6) 福利部

1) 重点課題

1-1) JAOT 特別表彰候補者選考について

今年度も JAOT より特別表彰の候補者選考の依頼あり。玖島理事に候補者をメールする。

2) 審議事項 なし

3) 報告事項

3-1) 求人関連(2020.8.31～2020.10.2)

3-1-1) 新規掲載(無料) : 19件

3-1-2) 新規掲載(有料) : 1件

3-1-3) 変更依頼 : 0件

3-1-4) 削除依頼 : 1件

(7) 制度対策部

1) 重点課題 なし

2) 審議事項 なし

3) 報告事項

3-1) 福祉用具班

3-1-1) 市民個人に向けての情報発信について

3-1-1-1) 概要

神奈川県在住の当事者の方から自助具の選択について、ウェブサイトを通じて福岡県士会へ問い合わせがあった。福岡県士会福祉用具担当部署が対応するとともに、神奈川県士会へ連絡があり、事務局より制度対策部福祉用具班へ相談があった。福祉用具班沼田班長がご本人へ連絡し、自助具選択の相談等に回答。当事者の方よりお礼のメールをいただき終了となった。

3-1-1-2) まとめ

当事者への個別の対応は初めてであり、今後このようなケースへの対応の仕方についてマニュアルが必要と考える（身元の確認や指導助言内容による事故への対応、現在かかっている医療との整合性など）。

3-1-2) HCR2020 中止

その代替として、HCRWEB上で各企業などの活動を紹介する。都士会を中心に神奈川、千葉、山梨（例年協力している士会）で紹介を作成し掲載予定。

3-1-3) ASL 協会神奈川支部

役員で、神奈川県共生社会アドバイザーの高野氏より、神奈川県子ども未来局共生社会推進課 共生グループのプロジェクトについて沼田班長へ相談の依頼あり。県の事業として県士会に依頼となる可能性もある。打ち合わせ中。

3-2) 災害対策班

3-2-1) 県士会会員向け安否確認システム運用シミュレーション実施

9月25日に実施。当日中5件、3日目まで11件、10日目まで13件(昨年度は1週間で90件、昨年台風19号本稼働時で20件)。

3-2-2) 大規模災害時理事会行動マニュアルのテスト運用

ラインおよびメールの文言など修正する。

(8) 地域リハビリテーション部

1) 重点課題 なし

2) 審議事項 なし

3) 報告事項

3-1) 地域リハ部事業状況

3-1-1) 研修会企画

3-1-1-1) 多職種精神保健福祉セミナー

PSW協会と話し合いを行い、今年度は中止となる。

3-1-1-2) 地域リハビリテーション人材研修会

生涯教育事業の一環として、規模を縮小して実施の方向で調整

3-1-1-3) 他の研修会 未定

3-2) 生涯教育事業

県の医療課より今年度の生涯教育推進事業について、対面開催も含めて事業計画通り行うことを確認し、手続きを進行中。

3-3) 神奈川県地域リハビリテーション三団体協議会の報告

3-3-1) 昨年度の会計監査 終了。大きな問題なし。

- 3-3-2) 今年度の訪問リハ実務者研修会・初任者研修会
オンライン研修を検討。前回の理事会で OT 士会の Zoom を空いている日を選び借りる方向で調整。
- 3-3-3) 学術集会は中止
- 3-4) その他
 - 3-4-1) 藤沢市地域ケア会議などのリハ専門職派遣、参加依頼
7月から再開。進行中。
 - 3-4-2) 県介護予防アドバイザー業務
県アドバイザー方へ各市町村への派遣依頼あり。相模原市と海老名市 1 回目派遣が終了。中井町、開成町、海老名市が適宜対応。
- 3-5) OT 協会地域包括ケア委員会のオンライン研修会
各県士会からの地域の協会への窓口を 2 名程度に増やしてほしいとの依頼と、関東ブロックで 10 月の研修会までに各県士会の情報共有をしたいとのこと。9 月 24 日にオンライン会議が開催。
10 月 3 日に協会主催のオンライン研修会あり、遠藤理事と部員の札野氏が参加。全国 1700 市町村の地域支援事業へ作業療法士の参画を目標。協会・士会の連携を元に一体的に推進と話があった。地域支援事業に資する人材育成研修会の県士会で行動目標を作って協会へ提出を求められている。会員、行政、他の専門職に分けて遠藤理事が記載し、10 月に提出予定。また、OT 協会の地域包括ケアシステム推進委員会は今年度までとのこと、今回の研修会でいったん終了となるとのこと。
- 3-6) 県建築士会から
毎年、建築士会主催で作業療法士会、理学療法士会協力で行われている「専門職連携住宅改修のワークショップ」の開催を検討していると連絡があり。オンライン研修会を含めて検討中。必要に応じて協力依頼が来ている。
- 3-7) 県からの「通いの場」へ専門職派遣事業の進捗状況
 - 3-7-1) 逗子市
1 回目 9 月 4 日、2 回目 10 月 2 日、3 回目 11 月 6 日、4 回目 12 月 4 日
専門職同士 (OT と栄養士) での実施。1 回目はリーダーや民生委員の方と方向性を確認する会となり、10 月 2 日が初回介入となる。参加者 32 名で興味関心チェックリストや握力、体重測定など実施している。
 - 3-7-2) 葉山町
1 回目 9 月 23 日、2 回目 10 月 14 日、3 回目 11 月、4 回目 12 月 16 日
8 月 19 日に対象となる通いの場へ専門職 (OT と衛生士) が見学。その後、話し合いを何度か重ねている段階、事業計画立案中。コロナ対策のため、集団を 2 つのグループに分けて対応中。そのため、モデル事業の通いの場の開催が月 2 回となっている。今回は、県が取り組んでいる「認知症アプリ」、「未病指標」を使用していく。

(9) 規約委員会

- 1) 重点課題 なし

2) 審議事項 なし

3) 報告事項

3-1) 電子印鑑の導入

財務部の吉本理事と相談し、領収書等への電子印鑑の導入をした。

3-2) マニュアル整理のご協力の依頼

各部、委員会で管理されているマニュアルを規約委員会でも把握したい。マニュアルがある部、委員会は神田理事まで送る。

(10) ウェブサイト管理委員会

1) 重点課題 なし

2) 審議事項

2-1) 著作権譲渡契約書の検討について

学生も含めて作業療法の啓蒙活動のため部員が作成した絵本の活用を検討中。

⇒著作権、使用权など複数の権利を含んでおり、都度確認していく必要があるが、今回の絵本に関するものみの契約書として検討する。10月23日までに佐藤範理事に意見をメールし、修正したものを理事 ML にて承認する。ただし、契約書自体の保管は事務局が妥当であることから、保管は事務局、報告等の管理はウェブサイト管理委員が行うこととする。

3) 報告事項

3-1) ウェブサイト管理委員会のオンライン会議について

9月11日に実施。マニュアルの使い方等事務局に報告する。

(11) 学会評議委員会

1) 重点課題 なし

2) 審議事項

2-1) (2022年度) 第5回神奈川県臨床作業療法大会 大会長の公募について

学会評議として、公募条件や期間を以下でまとめた。県士会 NEWS や HP 等で広く県士会員に公募を呼びかけたいと考えている。

2-1-1) 公募条件 (いずれも含む)

①県士会会員であること

②臨床経験年数が5年目以上で、学術大会もしくは臨床大会(当県士会は問わず)での発表経験のある者

③1名以上の県士会会員の推薦

公募期間: 2020年10月1日~2020年12月31日まで

応募先: 県士会事務局

必要書類: 大会趣旨、企画の概要、大会長プロフィール等

2-1-2) 意見交換

澤口: 複数立候補者が出た場合の選考基準はどうするのか。

戸塚: 選考基準についてはこれから考えていく。

佐々木: 所属長の了承が得られていることも必要では。

戸塚：加えていく。

神保：大会である以上質の担保も求められる・公募だけでなく声掛けも残しておいてもよいのでは。

佐々木：公募が成功するかは後方にかかっていると思う。

⇒公募条件、選考基準など 10月23日まで戸塚理事にメールする。

3) 報告事項

3-1) 第18回神奈川県作業療法学会 進捗

3-1-1) パシフィコ横浜アネックスホール 本予約手続き中

3-1-2) 実行委員のメンバー（追加）について

実行委員長 對間泰雄氏（神奈川県リハビリテーション病院）

事務局長 富永渉氏（国際医療福祉大学小田原保健医療学部）

学術局長 木村亮太氏（磯子中央病院）

3-1-3) 2020年10月13日（火） 第1回実行委員会を実施

松田学会長・對間実行委員長・富永事務局長・木村学術局長・学会評議（4名）

自己紹介・経過の報告・各委員会の部長の選出・今後のスケジュールの確認

(12) 公益法人化対策委員会

1) 重点課題 なし

2) 審議事項 なし

3) 報告事項

3-1) リハ手帳について

PT士会より、対象者は高齢者、介護保険分野で使うことを想定して内容について三団体が検討すること、OT士会、ST士会も予算化してほしいとの提案があり、質疑が行われた。その結果、ゼロベースで再検討し、印刷に予算がかかるならウェブサイトからのダウンロードも検討することとなった。また、内容は三団体が使用できる内容を再検討することになったと報告あり。理事有志で内容を検討したいと考えていたが、リハ手帳ありきで考えたいとPT士会より連絡があったため、次の会議で再確認する。

(13) 生活行為向上マネジメント推進委員会

1) 重点課題 なし

2) 審議事項 なし

3) 報告事項 なし

(14) 認知症対策委員会

1) 重点課題 なし

2) 審議事項 なし

3) 報告事項

3-1) オンライン研修会「認知症に関する基礎研修会」

11月25日（水）19:15分入場 19:30開始 21:00終了予定。

Zoom に予定入力済み。理事 ML にて連絡済み。

講師：足立雄介氏（間中病院）

参加費：1000 円（県士会員で会費納入者）その他 1500 円

講師もスタッフも自宅で行う。

(15) 地域包括ケアシステム推進委員会

1) 重点課題 なし

2) 審議事項 なし

3) 報告事項

3-1) 横浜市地域リハビリテーション活動支援事業進捗状況

9 月以降は活動再開している地域グループ(通いの場)が徐々に増えてきており、キャンセル件数も落ち着いている。また、住民対象ではなく、介護支援専門員向けの講座再開依頼も出てきている。地域ケア会議は 8 月末開催だったものがコロナ第二波の影響で中止に至ったケースもあった。上期に延期したものが、下期で調整・再依頼となるものあり、横浜市事務検討会にて下期の状況を含めて協議する予定。

(16) エリア化推進委員会

1) 重点課題 なし

2) 審議事項 なし

3) 報告事項 なし

(17) 監事より

下半期が始まった。会員・県民への還元が難しい状況であるが、ニュースだけでは様々なことを伝えきれない。時代にあった形でつきあっていけるよう検討してください。

(18) 渉外活動

1) 介護予防のための地域ケア個別会議

2020 年 8 月 20 日 場所：逗子市市役所

会議参加者：吉本雅一氏(湘南鎌倉総合病院)

2) 介護予防のための地域ケア個別会議

2020 年 9 月 17 日 場所：逗子市市役所

会議参加者：吉本雅一氏(湘南鎌倉総合病院)

3) 第 4 回リハビリ手帳作成委員会

2020 年 9 月 10 日 18 時 30 分～20 時 場所：オンライン会議

会議参加者：澤口勇氏(訪問看護ステーション レンゲの花)

4) 47 委員会報告

2020 年 9 月 12 日 場所：オンライン会議

会議参加者：午前 金山桂 (介護老人保健施設千の風・川崎)

午後 澤口勇 (訪問看護ステーション レンゲの花)

内容：新コンピューターシステムについて

作業療法白書について 1年延期とした。今後アンケート実施予定。
協会員＝士会員について 特設委員会を設置し、検討している。
養成教育委員会 卒前・卒後の一貫した教育を目指している。
新型コロナウイルス感染症における士会活動情報交換
認知症（各県士会での取り組み）、精神領域（精神障害にも対応した地域包括
ケアシステムに寄与する作業療法のあり方）に関する意見交換

6次回予定

- (1) 三役会 11月16日（月）18:30～
- (2) 理事会 11月28日（日）10:00～14:00

以上、文責 金山

議事録署名人	議長：	錠内 広之	印
	理事：	戸塚 香代子	印
	監事：	田中 ゆかり	印